



アマチュアオーケストラ

# 新交響楽団第237回演奏会

The New Symphony Orchestra - 237th Concert

指揮 **寺岡 清高**

TERAOKA Kiyotaka, conductor

## J.シュトラウス2世 喜歌劇「こうもり」序曲

Johann STRAUSS II (1825-1899): Overture to the Operetta "Die Fledermaus", 1874

## ベートーヴェン 交響曲第8番 へ長調

Ludwig van BEETHOVEN (1770-1827): Symphony No. 8 in F major, Op. 93, 1812

## ツェムリンスキー 交響詩「人魚姫」

Alexander von ZEMLINSKY (1871-1942): "Die Seejungfrau" (The Little Mermaid),  
Fantasy for Orchestra after Hans Christian Andersen, 1903

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

**2017年4月23日 (日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演**

Sunday, April 23, 2017, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

**入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)**

88ペアチケット (お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引いたします。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイマジン 03(3235)3777 \*10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570(010)296 \*10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/> \*0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

\*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

\*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

## 音楽の都 ウィーン

今回は第231回演奏会に引き続き、ウィーン在住の寺岡清高氏を指揮に迎え、ウィーンにちなんだ3曲を演奏します。

前半は、「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世の人気オペレッタ「こうもり」の序曲と、ベートーヴェンの交響曲第8番です。交響曲第8番は第7番と同時に初演された曲で、人気の第7番の陰に隠れた感じですが、古典的ながらも創意工夫に溢れ躍動感のある名曲です。

## 世紀末ウィーンの作曲家 ツェムリンスキー

寺岡氏は19世紀末から20世紀初頭のウィーンの世界をライフワークとしており、後半はその中からツェムリンスキーの交響詩「人魚姫」を取上げます。

ツェムリンスキーという名前に馴染みがない方も多いと思いますが、芸術の花開いた世紀末ウィーンの世界で重要な役割をした作曲家です。

ウィーンで生まれたツェムリンスキーは13歳でウィーン楽友協会音楽院(現在のウィーン国立音楽大学)に入学し、優秀な成績でピアノ科を卒業した後も作曲を学び、ブラームスに見出されます。その後はワーグナーやマーラーの影響を受け、ロマンティックな作品を残しています。指揮者としても有能で、ウィーン・フォルクスオーパーの初代監督を務めました。

現代音楽の祖として有名なシェーンベルクの作曲の師であり義理の兄でもあります。また、アルマ・シントラー(後のマーラー夫人)も彼の弟子にあたります。

## 人魚姫の物語

「人魚姫」は皆さんご存知のアンデルセンの童話。海の底に暮らす人魚姫は、難波した船から瀕死の王子を救い出し、恋をする。魔女に薬をもらい、声と引換えに人間の脚を手に入れるが、もし王子が他の娘と結婚すれば海の泡と消えてしまう。めでたく王子と御殿で暮らせるようになったものの、声を失った人魚姫は王子を救ったことを話すことができず、王子は浜辺で介抱した娘を命の恩人と勘違いし、結婚することに。人魚姫の姉が魔女にもらった短剣で王子を刺せば人魚に戻れると告げられるが、人魚姫は海に身を投げ泡となり天国に昇るといふ、悲しく切ないお話です。

アルマに恋をしたツェムリンスキーでしたが、結局アルマはマーラーと結婚し、失恋してしまいます。ちょうどその時期に作曲されたのが「人魚姫」でした。人魚姫の物語の光景や心情が音楽でドラマティックに表現されています。

シェーンベルクの交響詩「ペレアスとメリザンド」と同時に初演されたのですが、「ペレアス」の評判が良くてツェムリンスキーは落胆したのか、その後演奏されることはありませんでした。ツェムリンスキーが1938年に米国に亡命したこともあって楽譜は散逸していましたが、1980年代によく蘇演され、再評価されています。「ペレアス」よりもわかりやすく、映画音楽のように楽しめる作品となっています。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

## 今後の演奏会予定

<第238回演奏会>

2017年7月15日(土)18時 東京芸術劇場

指揮 山下 一史

曲目 ニールセン/交響曲第4番「不滅」 他

<第239回演奏会>

2017年10月8日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 湯浅 卓雄

<第240回演奏会>

2018年1月28日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎 彦太郎

## 新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井真木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井真木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

## 維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

## 団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail: shinkyo@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

## 演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、託児施設だっこルームをご利用いただけます。利用日の1営業日前正午までにご予約ください。~1歳2,560円、2歳~6歳児2,160円。お申込み・お問合せ：小学館集英社プロダクション03-3981-7003(平日10:00~17:00、土・日・祝日休み)